

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース(※)の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大で一年間を過ごす研修。研修期間中の概ね半分は自治大の実務に従事、半分は通常の研修(第1部課程等)を履修することによって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

4月にマネジメントコース研修生として着任してから、早いもので9ヶ月が過ぎました。私は、前半は自治大という新しい職場で少しだけお仕事をし、基本法制研修A第8期と第1部課程第138期を受講。その後は自治大の所属に戻って職員として働いています。

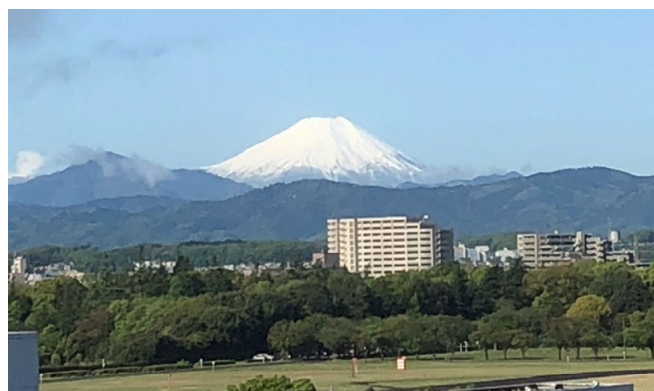
担当は、主に令和5年度に実施する各種研修課程の見直しに関するものです。特に来年度は、基本法制研修と第1部課程を統合してスケジュールに余裕を持たせながら、管理職のマネジメント能力養成に役立つ課目を充実させることが目玉になります。

自分も受けた研修を改めて見返してみると、地元で普段仕事をしている中ではあまり触れることのない分野を学ぶ、素晴らしい機会だったと実感しました。社会の変化に合わせたカリキュラムの構成や、講義・演習毎の狙いなど、細かな所まで意図されて作られていることにも、幹部候補職員向けの高度な内容を提供してきた自治大の歴史を感じています。

そんな研修機関の課程見直しという転機に立ち会えるのは有り難いことです。見直し内容検討のため、某有名大学の教授や著名な先生方にお話を伺うなど、貴重な経験をさせていただいております。また、充実を図る予定の人材マネジメント関連の分野では、コーチングやフォロワーシップ、アンガーマネジメントなど、今まで聞いたことないですが、これから自治体の現場でも大事になってくるスキルについて知ることができました。私もそろそろ部下を持つ身なので、こうした新しいことを常に学びながら、職員の成長と働きやすい組織づくりに貢献できたらと考えています。

すっかり慣れた立川での暮らしも残り3か月。自転車で足しげく通った食堂やラーメン屋、会員になるとお得に観られる映画館、フラットでとても走りやすい昭和記念公園周辺など、たくさん楽しませてもらった街を離れるのは寂しい限りです。いつか自治大に来られる皆様も、全国各地から集まる研修生との絆を深めながら、楽しく研修生活をおくられることを願っております。

ここで働くチャンスを与えてくれた地元の上司や同僚、自治大の職員の皆様、人生の宝物になった研修仲間、そして家族への感謝を噛みしめつつ、来年度の研修生の皆様が実りある研修を受けられるよう尽力したいと思います。(T. M)



寮の自室窓から望む富士山